

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 可児高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和4年2月24日(木)
- 3 開催形態 書面開催
- 4 参加者

会長	山口 智司	可児高校PTA会長	
副会長	三品 芳則	可児市立蘇南中学校長	
委員	松井 慶子	元可児高校PTA役員	
	市原 崇光	可児市商工会議所副会頭	
	千束 綾子	可児市役所産業振興課主任	
	菰田 さよ	可児市国際交流協会	
	杉浦 浩子	岐阜医療科学大学看護学部学科長	
	水野 秀光	坂戸地区自治会長	
	学校側	総山 俊行	校長
		大野 広喜	事務長
	林 辰郎	教頭	
	田内 俊文	教務主任	
	小栗 和成	生徒指導部長	
	内藤 崇	進路指導部長	

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) スクール・ポリシーの承認について

意見1: 今後は、カリキュラム・ポリシーの具体的な活動内容とグラデュエーション・ポリシーの評価が見える化できるとよい。

意見2: 理想的で素晴らしい内容である。

意見3: スクール・ポリシーの内容や今後の運用方針についての学校長の考え方に大いに共感する。

意見4: アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、グラデュエーション・ポリシーの3つが、内容的に連動しており、バランスの取れたものだと感じる。地域における本校のミッションを実現する内容となっている。

#### (2) 今年度の活動や来年度に向けて

意見1: 近年、高校入試において定員割れの状態が続いており、本校が総合的に魅力に欠ける結果と受け止めざるを得ず、スクール・ポリシーに沿って生徒を育成していくこと

で、生徒・地域に愛され支持される高校になることを願っている。PTAもその一端を担えとよい。

意見2：本校の良さが多くの方に伝わり、地域の中でさらに認められ愛されていくことを願っている。

意見3：今年一年、教職員やPTA役員が様々な意見を出し合うことができた。来年度以降も意見を出し合いながら学校を支援していけるとよい。

意見4：卒業生の一人として思うことは、確かに小テストや課題は大変だけど大人になった今、その時の学びは決して無駄ではなかったと感じている。仕事上で、「可児高〇〇期生です。」と言って先輩や後輩とつながれることを嬉しく感じる。

意見5：今年は、コロナのために叶わなかったが、来年は、可児市国際交流協会と本校の生徒と一緒に活動したい。

意見6：本校の志願者が減少していることに心を痛めている。本校生徒の頑張り、輝く姿等々がもっと出身中学校に届くと先輩の後に続こうと思えるのではないか。

意見7：本校生徒の学習に対するひたむきな姿勢や物事に真剣に取り組む態度は、本当に素晴らしい。このような生徒たちをどのように育てていくのか。夏のアンケート結果を見ると、生徒も保護者も本校には大学進学に耐えうる学力をしっかりとつけることに期待を寄せている。さらに今後は、「自ら」道を切り拓いていく高い意識と生涯にわたって活用できる力を身に付けられるような教育活動をしてほしい。

## 6 会議のまとめ

- ・スクール・ポリシーに対して、委員全員から承認を得た。
- ・本校の志願者が減少していることに関して、可児高校の良さを地域や中学校へさらに発信していくことが必要である。
- ・今回作成したスクール・ポリシーの「育てたい生徒像」に基づいて、今後、日頃の教育活動をどのようにしていくかが大切になる。